

令和 6 年 2 月 21 日  
総合政策局 国際政策課・海外プロジェクト推進課

## 海外インフラプロジェクトに携わる優秀な技術者を大臣表彰！

～表彰式をハイブリッド開催～

国土交通省は、今後の海外進出や国内外の技術者の相互活用を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者について表彰する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」を 2020 年度に創設し、運用しています。

このたび、2023 年度においては、**優れた技術者 17 名を表彰**することを決定しました。**受賞者への表彰式を 3 月 1 日（金）に開催**します。

### 1. 制度の概要について

国土交通省では、技術者の国内・海外間での相互活用を促進を図ることを目的に、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績を認定するとともに、特に優秀な技術者を表彰する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」を 2020 年度に創設し、運用しています。

今年度は、2023 年 9 月 25 日～11 月 24 日にかけて認定申請・表彰応募を受け付け、「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会（委員長：小澤 一雅 東京大学特任教授）」での審議を踏まえ、以下の通り決定したものです。

本制度により**認定・表彰した実績については、国交省発注の工事等において、技術者の能力等として評価**されます。

（制度の概要は別紙 1、委員会の概要は別紙 2 参照）

### 2. 国土交通大臣表彰について

今年度は、**17 社から計 28 名の表彰応募**があり、審査の結果、**国土交通大臣賞 13 名、国土交通大臣奨励賞 4 名の計 17 名の受賞者を決定**しました。

（表彰件数の詳細は別紙 3 参照。受賞者の一覧は別紙 4（国土交通大臣賞）・別紙 5（国土交通大臣奨励賞）参照）

- ※ 国土交通大臣賞：特に優れた技術者に対して表彰する「海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞」
- ※ 国土交通大臣奨励賞：優れた技術者であり今後の更なる活躍が期待される技術者に対して表彰する「海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞」

### 3. 表彰式について

**2024 年 3 月 1 日（金）に、対面・オンラインハイブリッドでの表彰式を開催**する予定です。

日時 2024 年 3 月 1 日（金） 16:00～16:30

開催形式 対面・オンラインハイブリッド

次第 ・祝辞  
・受賞者表彰 ほか

#### **4. 表彰式の傍聴について**

- 会場もしくはオンラインでの傍聴を希望される方は、**2月29日(木) 15:00までに**以下のアドレス宛にメールをください。期限までにご連絡いただいた方に集合場所等詳細な情報を送ります。  
件名：【傍聴希望】海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰 表彰式 (●●社)  
本文：氏名(ふりがな)、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)  
送付先：hqt-overseas-infra-records●gxb.mlit.go.jp  
(●を@に置換してお送りください。)
- 事務局において、表彰式の状況写真を撮影する予定です。希望がございましたら、表彰式終了後写真を提供させていただきますので、上記メールアドレスにご連絡をお願いいたします。  
※会場での傍聴について、傍聴人数に限りがあるため、各団体1名に限定させていただきます。傍聴人数が上限に達した場合は先着順とします。  
オンラインによる傍聴についても、回線の都合により接続数を限定させていただく場合があります。

#### **5. 実績の認定(認定証の発行)について**

認定件数、及び、認定証を発行する件数については、後日発表いたします。

##### **【問合せ先】**

総合政策局 海外プロジェクト推進課 羽田、馬籠 国際政策課 塚田

代表番号：03-5253-8111 (内線25823、25819)、直通番号：03-5253-8315

# 海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度について

## 目的

- 今後の海外進出や国内外の技術者の相互活用を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者については表彰するとともに、本認定・表彰の結果を国内工事・業務の入札時に評価する。

## 対象となる工事・業務

以下の海外建設工事又は業務の従事経験を有する本邦企業等に所属等する技術者※

### 【工事部門】

- ①発注者：外国政府/政府機関に準ずる法人(高速道路、鉄道、空港、電力に関する特殊法人、公社、公益法人、公益民間企業等を想定)、海外建設工事に関するBOTその他PPP形式の事業における特定目的会社、国際機関、日本政府又は政府関係機関
  - ②受注者(JVの構成員を含む、ただし元請けに限る)：本邦法人またはその海外現地法人
- である海外建設工事(道路、河川、港湾、鉄道、空港、建築等)に従事した技術者(過去15年の実績)

### 【業務部門】

- ①発注者：上記に同じ
  - ②受注者：上記に同じ
- である建設関連業務(道路、河川、港湾、鉄道、空港、建築等の調査、詳細設計、施工監理)に従事した技術者(過去10年の実績)
- <国内における調査等のみをその内容とする業務は含まない>

※重要な部分を担当した技術者を対象とし、一時的なサポート等の応援業務を含まない。

## 実績認定・表彰手続

### 【実績認定】

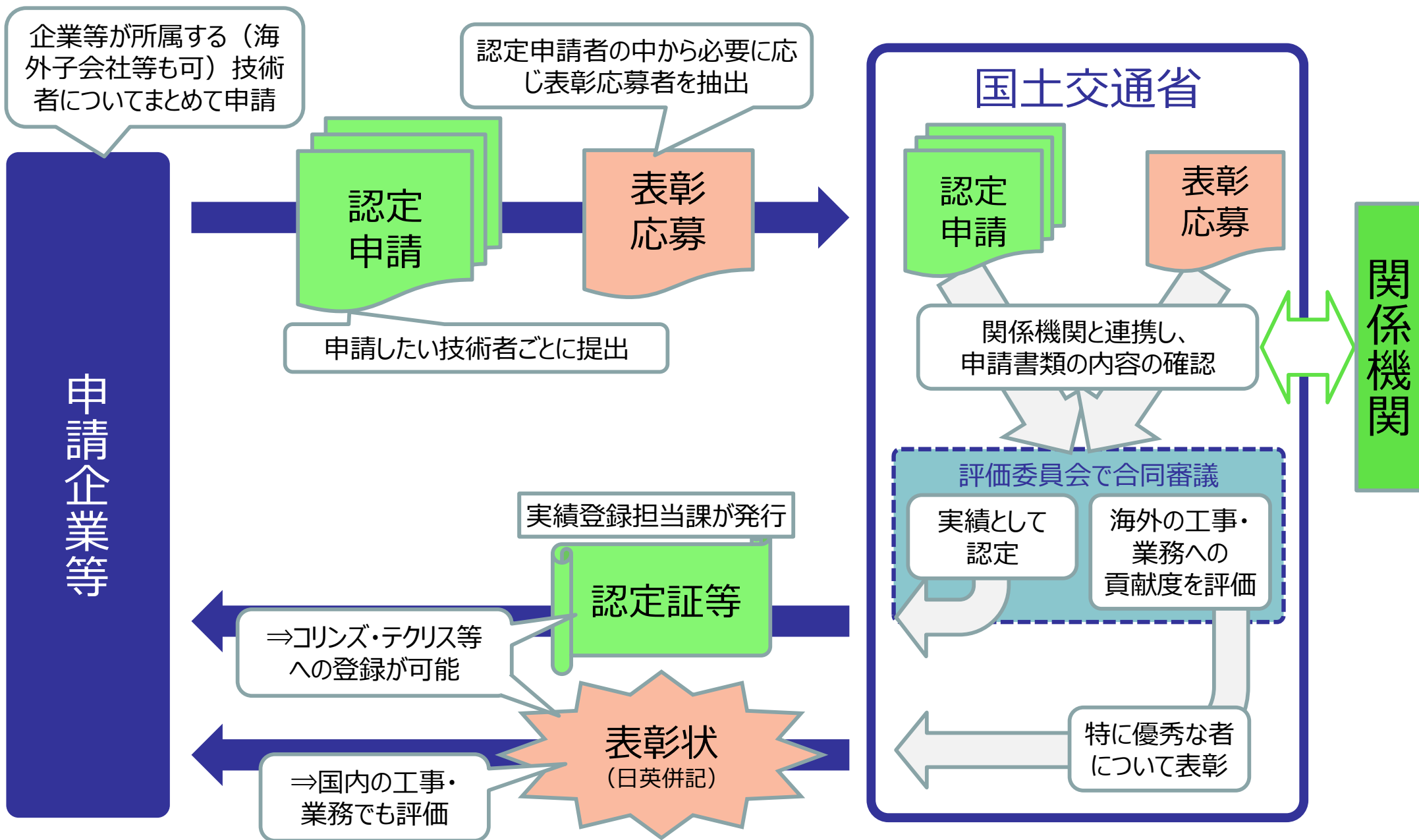
- 申請書類の内容を関係機関と連携して確認し、海外で従事した実績として国土交通省が認定※
- ※ 技術者が所属する企業等(海外関連会社の場合国内親会社)が申請。

### 【表彰】

- 応募技術者が従事した海外の工事・業務における技術力・創意工夫・貢献度等を評価し、特に優秀な者について表彰(大臣賞)
    - ・ マネジメントに果たした役割、成果
    - ・ 直面した技術的な課題と対応
    - ・ 関係機関協議・調整での困難性、工夫して対処、解決した点
    - ・ その他外部からの評価からの視点
 等々を評価
  - 「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」を設置し、制度の検討や受賞者の選考を実施
- ⇒ 実績・表彰のコリズ・テクリス等への登録が可能となり、国内工事・業務への門戸開放。

## 2023年度開催実績

- R5.9.11 第1回委員会開催
- R5.9.25-11.24 募集開始
- R6.1.19 第2回委員会開催、受賞者選考
- R6.1.24-31 第3回委員会(書面開催)



# (参考)海外で活躍する技術者を国内で評価し海外展開を促す仕組みの構築

- 建設業の海外進出が必要な一方、海外での工事・業務の実績が国内工事等の受注にあたって評価されにくい状況。
- このため、海外工事等の技術者の実績を国として認定・表彰するとともに、国内工事等の入札・契約手続きにおいて当該実績を評価する仕組みを構築することで、国内外の技術者の流動化を促進し、建設業の海外進出を後押し。

## 背景

- 建設業の海外進出、技術者の国内外の相互活用を推進する必要。
- 一方、直轄工事等で実績評価の際に用いるデータベース（コリンズ・テクリス）への登録には、発注者の確認（サイン）が必要であることから海外の実績登録が進んでおらず、当該実績が国内工事等の調達において評価されにくい。
- 国内の工事等において、海外工事等の実績を評価する仕組みが必要。

### ■「今後の発注者のあり方に関する中間とりまとめ」に海外展開を促進する仕組みの構築の必要性が明記

今後の発注者のあり方に関する中間とりまとめ（2018.4 発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会）

#### 5-4. 海外展開を促進する仕組みの構築

- ・ J I C A等の国際協力機関と連携して、海外における技術者の実績・成績等を国内工事・業務でも活用できるような制度構築の検討を行うべき。そのためにジ・エンジニアや海外実績の評価導入、海外実績、成績等の国内工事・業務への活用を検討すべき。

### ■品確法に基づく「発注関係事務の運用に関する指針」に海外での施工経験のある技術者の活用が明記

発注関係事務の運用に関する指針（R2.1 公共工事の品質確保の促進に関する関係省庁連絡会議 申し合わせ）

#### （競争参加者の施工能力の適切な評価項目の設定等）

- ・豊富な施工経験を有していない若手技術者や、女性技術者などの登用、民間発注工事や海外での施工経験を有する技術者の活用も考慮した要件緩和、災害時の施工体制や活動実績の評価など適切な評価項目の設定に努める。

## 海外工事等における技術者の実績を認定・表彰

- 海外で従事した実績を国土交通省が認定・表彰
- 2023年9月25日 募集開始
- 2024年2月～3月 表彰式・認定証の発行

## 直轄工事等における評価

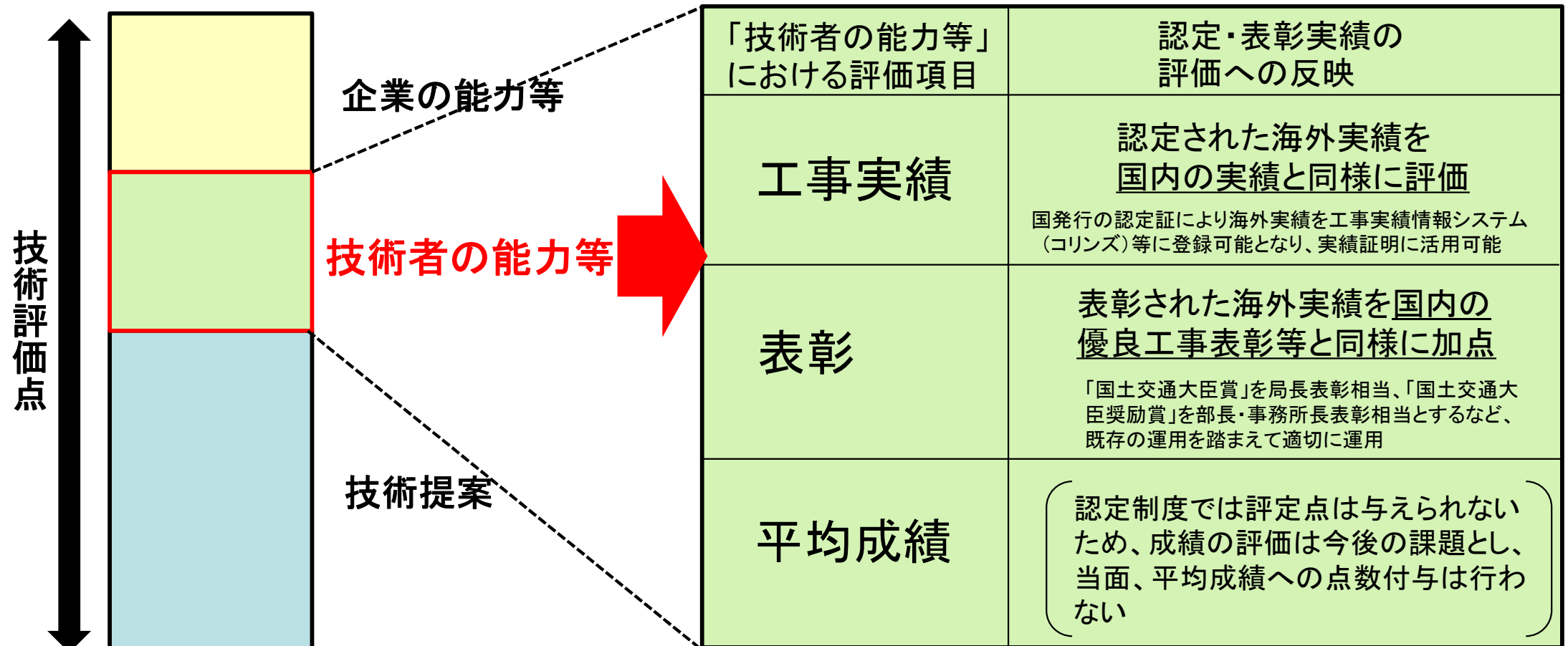
- 本認定によりコリンズ・テクリス等への実績登録が可能に
- 2021年4月～ 認定・表彰された海外工事等の実績を直轄工事等の入札・契約手続（総合評価落札方式）で評価

# 認定・表彰された実績の直轄工事・業務における評価

- 本制度による海外プロジェクトの認定・表彰実績を2021年4月1日以降に入札契約手続を開始する直轄工事・業務の入札・契約から評価に活用。
- 認定実績を同種工事等の実績として認めるとともに、表彰実績を国内での優良工事表彰等と同等に加点評価。
- 直轄工事等で海外工事等の実績が国内実績と同様に評価されることで、技術者が海外で活躍できる環境を整備。

## ■直轄工事等における認定・表彰の評価への活用(イメージ)

### 総合評価落札方式における技術評価



※工事の「技術提案評価型」の場合の例

## 設置目的

- 国土交通省において、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績の認定を行う（以下「認定制度」という。）とともに、そのうち特に優秀な技術者を表彰する（以下「表彰制度」という。）「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」について、実績認定基準の検討及び実績認定、並びに表彰受賞者の選考基準の検討及び受賞者の選考について審議し、両制度の運用等について有識者から合同で意見を聴取する。

## 構成員

委員長	小澤 一雅	東京大学 特任教授	行政委員	吉岡 幹夫	国土交通省	技監
委員	池田 龍彦	横浜国立大学 名誉教授	行政委員	田中 由紀	国土交通省	国際統括官
委員	加藤 佳孝	東京理科大学 教授	行政委員	石橋 洋信	国土交通省	大臣官房技術総括審議官
委員	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 教授	行政委員	小野寺 誠一	国土交通省	大臣官房海外プロジェクト審議官
委員	北野 尚宏	早稲田大学 教授	行政委員	林 正道	国土交通省	大臣官房技術審議官
委員	廿枝 幹雄	独立行政法人国際協力機構 理事	行政委員	秋月 聡二郎	国土交通省	大臣官房官庁営繕部長
委員	山田 菊子	(株)ソーシャル・デザイナーズ・ベース 取締役COO	(委員は五十音順・敬称略) ※所属は2024年2月現在			
委員	山田 邦博	(一財)日本建設情報総合センター 理事長				

## 開催状況

第1回委員会（2023.9.11） 第2回委員会（2024.1.19） 第3回委員会（2024.1.24-1.31書面開催）

## 大臣賞及び奨励賞 表彰件数

	表彰者数								
		工事	業務	大臣賞	工事	業務	奨励賞	工事	業務
合計 (応募数)	<b>17名</b> (28名)	12名 (19名)	5名 (9名)	<b>13名</b>	10名	3名	<b>4名</b>	2名	2名



## 受賞者一覧(国土交通大臣賞)

# 令和5年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞

## 2023 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer

### (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

(五十音順・敬称略)

氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名	工事/業務	分野
五十嵐 昭生	株式会社 大林組	ラオス人民民主共和国	ナムニアップ(NNP)1水力発電所建設工事	工事	電力
石原 遼	株式会社 大林組	ラオス人民民主共和国	ナムニアップ(NNP)1水力発電所建設工事	工事	電力
荻原 公彦	株式会社ジャイロス	マラウイ共和国	カムズ国際空港ターミナルビル拡張計画	業務	空港
川崎 博史	日本コンサルタンツ株式会社	インドネシア共和国	ジャカルタ都市高速鉄道(MRT南北線フェーズ1)施工監理コンサルティングサービス	工事	鉄道
小滝 功	飛島建設株式会社	東ティモール民主共和国	ディリ港フェリーターミナル緊急移設計画	工事	港湾
坂本 裕史	東亜建設工業株式会社	セネガル共和国	ダカール港第三埠頭改修計画	工事	港湾
シャヒザン ビン シャハルディン	清水建設株式会社	インドネシア共和国	パティンバン港開発事業(第一期)アクセス道路工事	工事	道路
多田 博光	大成建設株式会社	シンガポール共和国	地下鉄トムソン線MARINA BAY駅及びトンネル工事T226工事	工事	鉄道
町田 敬二	東亜建設工業株式会社	セネガル共和国	ダカール港第三埠頭改修計画	工事	港湾
三宅 清孝	八千代エンジニアリング株式会社	アフガニスタン・イスラム共和国	カブール市道路建設管理能力強化プロジェクト	業務	道路
諸田 元孝	三井住友建設株式会社	インドネシア共和国	ジャカルタ都市高速鉄道事業・106工区	工事	鉄道
山川 卓也	東急建設株式会社	ミャンマー連邦共和国	バゴー橋建設工事パッケージ3	工事	道路
山口 高男	株式会社ジャイロス	アフガニスタン・イスラム共和国	カブール国際空港誘導路改修計画	業務	空港

## 受賞者一覧(国土交通大臣奨励賞)

## 令和5年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞

## 2023 Minister's Encouragement Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

(五十音順・敬称略)

氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名	工事/業務	分野
今井 玄哉	日本工営株式会社	ミャンマー連邦共和国	ヤンゴン都市圏開発の課題整理のための情報収集・確認調査	業務	都市
鎌田 洋明	佐藤工業株式会社	シンガポール共和国	地下鉄ダウンタウン線(第3期)936工事	工事	鉄道
熊崎 壮洋	東洋建設株式会社	フィリピン共和国	洪水リスク管理事業(カガヤン・デ・オロ川)CP2	工事	河川
吉田 広和	日本コンサルタンツ株式会社	インドネシア共和国	ジャカルタ都市高速鉄道(MRT南北線フェーズ1)運営維持管理コンサルティングサービス	業務	鉄道